

# 15歳のグローバルチャレンジ

桐蔭学園  
中等教育学校  
プロジェクトチーム  
リーダー

## 橋本雄介



Yusuke Hashimoto

1976年生まれ。早稲田大学教育学部国語国文学科・同大学大学院文学研究科を経て桐蔭学園中等教育学校に国語科教諭として赴任。以後、中等教育学校の国語科の旗手としてエネルギーあふれる情のある授業を展開。また、2008年から模擬国連部の顧問を務め、現在活動11年で8回ニューヨークでの世界大会出場を果たしている。中等教育学校で学年主任を6年務め、2017年4月に中等教育学校プロジェクトチームのリーダーに就任。休みの日には子どもたちとスポーツ観戦に行くのが何よりの楽しみ。

### 「中等教育学校の伝統である模擬国連部の活動が、全生徒に継承される時が来た」

2019年4月に男女共学化される中等教育学校。様々な新しい取り組みが予定されるなか、中等3年次に行うプログラム「15歳のグローバルチャレンジ」に注目が集まっている。

橋本雄介中等教育学校プロジェクトチームリーダーが同プログラムの理念をこう語る。

「15歳のグローバルチャレンジ」とは、世界の様々な国の立場から、より良い世界を作るために取り組むべきことは何かを考える授業です。具体的には、4人で1つのグループを作り、自分たちが割り当てられた国についての理解を深めます。その国の位置や地理的な特徴、文化や歴史などを調べて、少しずつ担当国の『国民』に変身し

ます」

橋本リーダーは「ある国について深く理解した後に、『模擬国連会議』につなげていく」と言う。「模擬国連会議」については、もう少し理解が必要だ。

「模擬国連会議とは、国連総会を模して国際問題について議論し、問題解決に向けた決議を作成する一連の活動です。模擬国連会議では、参加者一人一人が国連に派遣された一国の政府代表・全権大使になりきって議論を行います。各国の大使は世界の国益を守りつつ、より良い世界の実現を目指して議論をするのです」

中等教育学校の「模擬国連部」は伝統的な部活動のひとつであり、活動11年で5回の優勝（最優

秀大使賞獲得）を含め8回ニューヨークでの世界大会出場を果たしている。橋本リーダーは創部から一貫して顧問を務めている。

「模擬国連会議では、自分が担当する国が抱えている問題を調べていきます。また自国の問題を解決するためには、どの国と協力する必要があるのかを考えて模擬国連会議に臨みます。この活動を通じて、自分たちが生きる世界について自分のことばで話せるようになるのです」

そして新しい中等教育学校では、この模擬国連部の活動をベースにして「15歳のグローバルチャレンジ」を週に1回の探究の授業で展開する。

う授業があります。1、2年次は自分で課題を設定してその解決方法を探る、という基本スキルを学びます。「15歳のグローバルチャレンジ」は3年次に行います。ここで得た多角的なものの方を、全員参加の海外語学研修や後期課程（4年、6年）の探究での豊かな「問い」につなげていきたいと思っています」

「新しい進学校のカタチ」を目指す桐蔭学園中等教育学校では、伝統と先進をかけた合わせた教育を追求している。模擬国連部が伝統的に積み上げてきた学びが、学校全体に浸透していく形だ。橋本リーダーの声に熱がこもる。

「模擬国連部が築いてきた伝統を、全生徒に継承することができていることを心から嬉しく思います。このプログラムは、『アクティブラーニング型授業』『キャリア教育』『探究』という桐蔭学園の教育を体現する活動になると信じています」

秋の説明会シリーズ

## 学校説明会

11月10日(土) 14:30～ (受付開始 13:30)

10月23日(火) 10:00～ (保護者のみ対象・定員100名・9/23(日) 10:00予約受付開始)

11月2日(金) 10:00～ (保護者のみ対象・定員100名・10/2(火) 10:00予約受付開始)

10/10 (水)  
10:00～  
受付開始



おいでよ!

## 学園祭

9月23日(日)  
24日(休)